



平成28年3月発行(令和2年2月改訂)

編集発行
兵庫区民まちづくり会議
(事務局:兵庫区役所まちづくり課内)

〒652-8570
神戸市兵庫区荒田町1丁目21番1号
078-511-2111

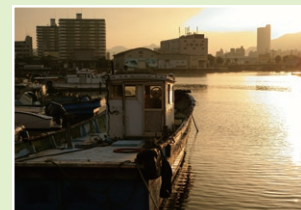
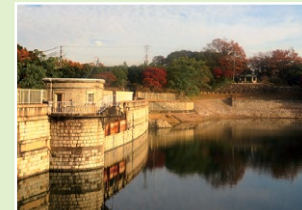


United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBET

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
Since 2008

神戸市広報印刷物登録 令和元年度 第456号 広報印刷物規格 A-1 類



ハートンと歩こう! ひょうごの道

〈兵庫区オススメまち歩き版〉



ハートンと歩こう! びょうごの道

〈兵庫区オススメモち歩き版〉

— も く じ —

- 〔兵庫津の道〕兵庫七福神コース …… 4〜
- 福原京コース …… 9〜
- 大輪田泊コース …… 13〜
- 楠木正成と南北朝の争乱コース …… 15〜
- 日本遺産認定!! 高田屋嘉兵衛コース …… 18〜
- 開港コース …… 21〜
- 明治期の神戸三大土木事業 …… 23〜
- まちの魅力 …… 26〜



神戸市兵庫区HP / 兵庫区資料館(パンフレット)には、「総集編(P60)」も掲載。ご活用ください!

兵庫区は、平清盛による福原遷都や湊川の戦いの舞台になる等、幾度も歴史の表舞台に登場し、また現在の神戸港発展の礎を築いた由緒あるまちであり、区内には多くの歴史的遺産が残されています。自然環境に恵まれ散策も楽しめる北部、市場や商店街・娯楽街・公園など賑わいと憩いの場である中部、国内最大級の兵庫運河があり重工業地域である南部と各々に特色があります。

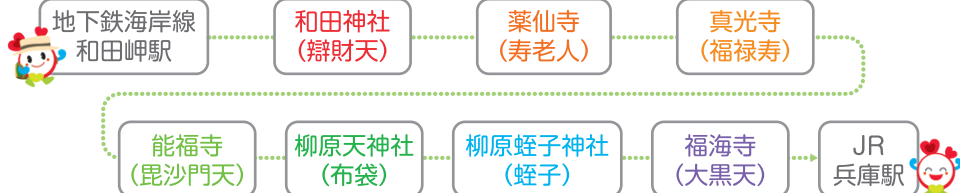


「兵庫津の道」兵庫七福神コース

江戸時代に庶民の間で大ブームとなった七福神めぐり!

福を呼ぶ神様7ヶ所を参拝すると、7つの災難が除かれ、7つの福運が授かると言われています。兵庫七福神は、神社だけではなくお寺にも祀られているのが特徴で、気軽に歩いてまわれる範囲に集まっているのも魅力です。

*「兵庫津の道」は、「兵庫津」を中心とした現在の兵庫区南部地域の史跡を結ぶ散策道で、公募により名付けられた道の愛称です。



地下鉄海岸線 和田岬駅

元は、インドの古代神話に登場するサラスバティ(水を持つもの)という神様です。琵琶を携えた姿で描かれることから、音楽・芸能の守護神としても信仰されています。

(和天神社) **辯財天**

長寿延命の神様として信仰されています。長い白髪、長い頭の仙人姿で、つえを携え鹿を伴っている姿が多いようです。この鹿は千年以上生きていると言われています。

(薬仙寺) **寿老人**



和田神社



薬仙寺

境内には「神田兵右衛門の顕彰碑」、「菱垣廻船問屋が奉納した石灯籠」等があります。また、春祭(春季大祭)には、だんじりを運行、お囃子に合わせて前進させたり、いっきに後退させたり、駆け出したりと大変勇壮です。清盛七辯天のひとつ「安全辯天」も祀られています。

本尊の薬師如来坐像は国の重要文化財に指定されており、境内には「後醍醐天皇御薬水・薬師出現古跡湧水の碑」、「詠歌踊り念仏連名の石碑」「花山法皇歌碑」があります。また、平清盛が後白河法皇を幽閉したといわれる「萱の御所蹟碑」が、新川運河拡張工事の時に寺院内に移設されています。



元々は中国の道教の神様です。長寿と人望にご利益があり、福は幸福、禄は高給、寿は長寿につながると言われています。

(真光寺)
福 禄 寿

宝
兵庫七福神



四天王及び十二天の一人で、鎧を着け、みるからに勇ましい神様です。七福神の中では、勝運の神様で、仏を守護し道徳を授けられていると言われています。インド神話では財宝を守るとされています。

(能福寺)
毘 沙 門 天



布袋のモデルは、中国唐代に実在した高德の僧で、幸運・開運をもたらす神様とされています。生活に必要なものがすべて入っている大きな袋をいつも抱え、喜捨を求め歩いたと言われています。

(柳原天神社)
布 袋



右手に釣り竿、左手に鯛を抱える姿から想像できるように豊漁をもたらす神様として、また航海安全の神様として港の近くに祀られています。港は船の出入りによって栄えるので商売繁盛の神様としても有名になりました。

(柳原蛭子神社)
蛭 子



あと1つ



真 光 寺

真光寺は、時宗の開祖である一遍が亡くなった場所に建立された寺院です。

正面入口には「大壇林の碑」、境内には「一遍上人御廟所」「遊行柳の碑」「平清盛公御膳水の井戸」等があります。

清盛七辯天のひとつ「音楽辯天」も祀られています。



能 福 寺

日本三大仏の一つである兵庫大仏があります。戦時中の金属供出により台座だけが残され、現在見られるのは、平成3(1991)年に再建されたものです。

境内には、神戸事件で切腹した「滝善三郎正信顕彰碑」、「北風正造顕彰碑」、「平相国廟」(平清盛の墓所)、「ジョセフ・ヒコ」(浜田彦蔵)が英文で寺の由来を説明した碑があります。



柳 原 天 神 社

須磨の綱敷天満宮などとともに、菅原道真ゆかりの神社のひとつです。道真は左遷先である太宰府へ赴く途中、暴風雨を避けるため和田岬に一時上陸したといわれ、その死後、ゆかりの地である兵庫に太宰府安楽寺から分霊をうけて祀ったのがはじまりと伝えられています。境内には、「夫婦いちよう」があり、この木にふれると縁結び、夫婦円満、子宝等に恵まれると言い伝えられています。



柳 原 蛭 子 神 社

創建された年代はわかっていませんが、兵庫の地で福の神として古くから崇敬されてきた神社のひとつです。現在では「柳原のえべっさん」とよばれて親しまれており、毎年1月9～11日にかけて行われる「十日えびす大祭」には、商売繁盛や福德円満を願ってたくさんの人々が参詣に訪れます。

創建柳原惣門は、西国街道の兵庫のまちなちに出入する西の玄関口でした。近年の発掘調査で、元禄9(1696)年に作成された絵図とほぼ一致する場所から惣門の跡が発見されています。また惣門を入ってすぐの場所にある柳原蛭子神社の脇には明治維新まで高札を掲げる札場がありました。

柳 原 惣 門 跡 の 碑

元々は「マハーカーラー」というインドの神様で、日本では開運招福・商売繁盛・家内安全の神様として信仰されています。手に持つ「打出の小槌」は財運を分け与えるものとされ、背中には金銀財宝の入った袋を背負っています。

大黒天
(福海寺)



ゴール!



福海寺

福海寺は足利尊氏が在庵円有に開かせたといわれています。もとは二本松(JR兵庫駅の西)にありましたが、嘉吉の乱で焼失し、現在の位置に移ったと伝えられています。現在では大黒天もお祀りし、毎年1月9～11日には「大黒祭」が催され、向かいの柳原蛭子神社とともに参詣客でにぎわいます。平清盛が好んだ時雨の松があったと言われていいますが、今は碑だけが残されています。



ひょうごの豆知識
清盛七辯天

治承4(1180)年に平清盛によって、兵庫津の発展と住民の繁栄を祈願して、平家一門の氏神として信仰の深い安芸国(広島県)の厳島神社(安芸の宮島)を兵庫に勧請しました。この時、宮島にある七つの海岸にちなみ、兵庫に七つの辯財天をお祀りしたと言われています。
花隈厳島神社は、その後移設され、現在は、中央区にあります。



①和田神社
(あんぜんべんてん)



⑦花隈厳島神社
(けんこうべんてん)



②真光寺
(おんがくべんてん)



⑥氷室神社
(れんあいべんてん)



③濟鱗寺
(べんきょうべんてん)



⑤兵庫厳島神社
(おしやればんてん)



④恵林寺
(うんどうべんてん)

福原京コース

平清盛が平安京からこの地に都を遷し、わずか半年でしたが優雅な営みがもたれた福原京。この福原京の中心地であったといわれているのが、平野地域を中心とする一帯です。



平清盛のすすめで福原に都を遷し、二位尼時子に抱かれて入水した安徳天皇の菩提を弔うために建立されたと言われています。
※保育園の中にあるため、見学には許可が必要です。



宝地院

神社付近に、平清盛の弟・池大納言頼盛の山荘があったとされており、治承4(1180)年6月3日の福原遷都の際は、その山荘が、安徳天皇の行在所(仮の皇居)となったと言われています。

境内には、安徳天皇行在所跡の碑と福原遷都八百年記念の碑があります。



荒田八幡神社

塞神の松広場

塞神の松広場は、平成11(1999)年に地域の「魅力スポット」として整備されました。このあたりは祇園遺跡の発掘調査の中でも重要な発掘が行われ、庭園の池の跡や京都産の瓦や中国製の珍しい焼き物の碗が見つかり、大きな屋敷があったことが確認されています。



塞神の碑

平成5(1993)年に国道428号線の拡幅工事に伴う発掘調査で、発見されました。現在は第16次発掘調査が終了しており、調査跡を見ることはできませんが、出土品の展示等を見ることができます。



出土品展示

平成23(2011)年に行われた第14次調査で、平家一門の有力者の邸宅とみられる遺跡物が多数発掘されました。その際出土した土器等が、発掘調査の後に建てられたスーパーのあるビルに展示されています。

展示場所：トーホー平野祇園ビル
観覧時間：平日 9:00~17:00

祇園遺跡

「平清盛像建立実行委員会」が若かりし日の清盛をイメージして建立しました。



若武者・平清盛像
(平野交差点の南東角)

福原遷都を行い、この地で新しい国づくりを夢見た平清盛。
平野地域の方々により、その姿を表し、今もこの地を見守り続けています。

二人の清盛



浄海入道・平清盛像
(平野商店街の交差点の南側)

沈む夕日を扇で呼び戻した清盛の姿を表し、台座は祇園遺跡から出土した平安後期の石材で作られています。



平清盛が経ヶ島築造の際、この神社の裏山で海潮の響きを聞きながら計画を練ったと伝えられています。約90段の階段を上がると、ひょうごのまちが一望できます。

祇園神社



平野のぎおんさん

毎年7月13日~20日の8日間、疫病や水難などの災厄から逃れ、無事厳しい夏を過ごせるよう祈願する夏祭り(祇園まつり)が斎行されます。

「平野のぎおんさん」として親しまれています。

雪御所町は、平清盛の別荘「雪見御所」跡と言われています。湊山小学校建設時の校庭から邸宅の庭石ではないかと思われる大きな石が見つかり、「旧蹟碑」として保存されています。蹟碑の周辺には、祇園遺跡で発掘された平安末期の貴族邸宅の庭園に使われたと思われる玉石が敷き詰められています。

(現在湊山小学校は神戸祇園小学校に統合されています)

雪見御所旧蹟碑



ゴール!



みなとがわ かみおん せん
湊川上温泉
 平清盛も入ったかもしれない？湯屋
 清盛が好んで入った湯屋がこの辺一帯にあった温泉地帯ではないかと言われており、現在も湊山温泉が現役営業中です。



昭和13(1938)年8月に開業。それ以来、炭酸重曹泉の源泉かけ流しで根強い人気があります。温泉に入った後、冷たいフルーツ牛乳をゴクゴクいただくのも楽しみです。

時間：5:00~23:30 (最終受付は23:00まで)

定休日：毎週水曜日 (祝祭日の水曜日は通常営業)

問合せ先：078-521-5839

※営業日時はHPを要確認 URL <https://minatoyama-onsen.com/>

地下鉄西神・山手線 湊川公園駅

地下鉄西神・山手線 大倉山駅

大輪田泊コース

兵庫の港は「大輪田泊」と呼ばれていた奈良時代から瀬戸内海航路の要港でした。平安時代末には平清盛によって「大輪田泊」の修築、人工島「経ヶ島」の建設が行われ、清盛が推進した日宋貿易の拠点となりました。



地下鉄海岸線
中央市場前駅

来迎寺
(築島寺)

古代大輪田泊
の石椋

清盛くん



清盛塚

清盛橋

大輪田橋

新川橋

地下鉄海岸線
中央市場前駅

平清盛が経ヶ島を築造する際、暴風大波のために工事が進みませんでした。そこで海神の怒りをなだめるため、17歳の松王丸が申し出て、進んで人柱になったと伝えられています。けなげな松王丸の菩提を弔うため、二条天皇の勅命により建立されたといわれているのがこの寺です。境内には、松王丸の供養塔が残されているほか、清盛の寵愛を受けた愛人・妓王と妓女の墓も残されています。



来迎寺(築島寺)



柳原惣門をくぐって、兵庫津に入ると、南仲町の辻に出ます。ここは、兵庫宿の中心地に当たり、大きな高札場(幕府の布達等を掲示する場所)があったので、俗に「札の辻」とか「札場の辻」とも呼ばれていました。兵庫の高札場は、ここと東西の惣門と、来迎寺(築島寺)前との四ヶ所にあったそうです。「右 和田御崎、左 築嶋寺」の標石も移設されています。



札場の辻



石椋とは石を積上げた防波堤や突堤の基礎などの港湾施設のことです。



大輪田泊は、奈良時代に行基が構築したと伝えられ、日宋貿易の拠点となりました。この巨石は昭和27(1952)年の新川運河の浚渫工事の際に出土し、平清盛が築いた経ヶ島の遺材ではないかと考えられていました。

ところが、平成15(2003)年にこの石材が発見された近くで、奈良時代後半から平安時代中頃の港湾施設と考えられる遺構と建物の一部が発見されました。これにより、この巨石は古代の石椋の石材であったと推定されます。

古代大輪田泊の石椋



清盛塚

十三重の石塔で「弘安9(1286)年2月」の年号が刻まれています。もともとは現在より南西の場所にありましたが、旧神戸市電の道路拡張工事に伴い移転されました。そのときの調査で遺骨は発見されず、墓ではなく供養塔であることが判明しました。兵庫県の重要文化財に指定されています。石塔の隣には柳原義達氏の作になる平清盛像と、琵琶の名手・平経正にちなんだ「琵琶塚」碑があります。

楠木正成と南北朝の争乱コース

鎌倉時代から室町時代にかけては、鎌倉幕府の滅亡や後醍醐天皇の親政、足利尊氏の反乱、室町幕府成立など、戦乱の時代を迎えます。

ひょうごのまちは、楠木正成が活躍した後醍醐天皇方と足利尊氏が率いる武将方による「湊川の戦い」の主戦場となりました。





湊川の合戦で「魚の御堂」に本陣を置いた足利尊氏たちが、敗れた楠木正成の首を置いて首あらためをした石だと伝えられています。黒田長政の神戸別邸にありましたが、同寺に寄贈されました。

楠公供養石 (阿弥陀寺)



後醍醐天皇御薬水・ 薬師出現古跡湧水の碑 (薬仙寺)

後醍醐天皇が隠岐から京へ還幸の途中、福厳寺に立ち寄って駐留されたことを示しています。楠木正成をはじめとする数千の公卿や武士が天皇をお迎えにあがったと言われています。



「史跡後醍醐天皇駐蹕之處」石碑(福厳寺門脇)



後醍醐天皇が隠岐から京へ還幸の途中、福厳寺に駐留されたおりに、薬水を献上したことから薬仙寺の名を賜ったとも伝えられています。

大楠公六百年祭を記念して斉藤素厳作の大楠公像が湊川公園南部に建てられました。

公園北部に移されていましたが、公園の再整備に伴い、再び南部にもどることとなります。



楠木正成像Ⅱ大楠公像(湊川公園)

湊川神社(神戸市中央区)

湊川の戦いで自刃した「楠木正成」(大楠公)と、その子「正行」(小楠公)が祀られており、兵庫県初代知事である伊藤博文が創建に尽力しました。徳川(水戸)光圀が建てさせた墓碑があり、「嗚呼忠臣楠子之墓」の文字は光圀の筆によるものです。また、自刃の場が本殿の西側奥にあり、墓碑とともに国の重要文化財史蹟に指定されています。



大楠公御墓所

湊川の合戦のときには、楠木正成が会下山周辺に本陣を置いたと伝えられています。会下山公園にある「楠木正成本陣の碑」に刻まれている「大楠公湊川陣之遺蹟」の文字は日露戦争でも活躍した東郷平八郎元帥の筆によるものです。



楠木正成本陣の碑(会下山公園)

兵庫七福神大黒天をお祀りする福海寺は、足利尊氏が在庵円有に開かせた寺院です。足利尊氏が新田義貞軍に追われた際、福海寺の前身である針ヶ崎観音堂に避難し、これにより命拾いした尊氏が、康永3(1344)年に報恩のため福海寺を開かせたと言われています。



足利尊氏公福海寺御詠歌



開基征夷大將軍足利尊氏公石碑



太平記合戦図

日本遺産認定!!

高田屋嘉兵衛コース

兵庫津の大偉人!「高田屋嘉兵衛」

高田屋嘉兵衛は、江戸時代後期に兵庫津で活躍した廻船業者です。淡路島で生まれ、兵庫津に出て樽廻船の水主(かこ)となり、後に廻船商人として独立。エトロフ島を開拓して多くの漁場を開くなど、廻船業と漁場運営で巨額の財を築きました。

平成30年5月、北前船寄港地として、神戸市が日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の認定を受けました。兵庫区内には3箇所あります。



市バス③系統「七宮町バス停」

高田屋嘉兵衛顕彰碑 (竹尾稻荷神社)

★高田屋嘉兵衛本店の地記念碑

高田屋嘉兵衛記念館 (まちなか倶楽部)

★高田屋嘉兵衛の献上燈籠 (西出町鎮守稲荷神社)

七宮神社

★工業松右衛門の顕彰碑 (八王寺)

JR兵庫駅

市バス③系統「七宮町バス停」

昭和28(1953)年に地元有志により入江小学校の門脇に建立されましたが、学校の統廃合により平成5(1993)年にこの神社に移設されました。



高田屋嘉兵衛顕彰碑 (竹尾稲荷神社)

高田屋の倉庫が立ち並んでいたと伝えられる周辺に、地域の方により案内板と記念碑が設置されています。平成30年に日本遺産の認定を受けました。



高田屋嘉兵衛本店の地記念碑



(まちなか倶楽部)

高田屋嘉兵衛記念館

開館日:水曜日
開館時間:13:00~15:00

平成13(2001)年10月に、地域の「歴史資料館」として開館しました。高田屋嘉兵衛の資料を始め、神戸みなとの祭のポスター、兵庫津絵図、明治時代の和船ランプ等珍しい資料や貴重な作品が展示されています。前の歩道には、嘉兵衛にちなんだ北前船のタイルが埋め込まれています。

【問合せ先】 六條さん ☎078-671-6600



文政九年の手水鉢
鉢に「文政九丙戌年仲冬浣日」という記年銘のある珍しい手水鉢です。丙戌年は1826年にあたり、仲冬は11月をあらわしています。



高田屋嘉兵衛が、海上安全を願って献上した石燈籠。燈籠には、「兵庫津高田屋手船中文政七稔歳次甲申十二月」と書かれています。文政7(1824)年にはすでに淡路に引退しているのですが、育ててくれた兵庫を思いやる心を感じます。平成30年に日本遺産の認定を受けました。



高田屋嘉兵衛の献上燈籠

平清盛の甥で一の谷の合戦に散った平敦盛の兄の平経俊の五輪塔があります。子どもの守護神「夜泣きの神様」として信仰されています。



平経俊の五輪塔

西出町鎮守稻荷神社

JR 兵庫駅

平清盛が経ヶ島を築くために塩樋山という山を崩したため、山に祀られていた神の怒りにふれないように建立したと言われる神社です。

高田屋嘉兵衛が模型船を奉納して海上安全を祈願し、これに習って多くの廻船業者が、この神社に航海安全を祈願したと伝えられています。(戦災により模型船等は焼失しています)



七宮神社

北前船の船主であり、帆布の製造法を発明した「工楽松右衛門」の顕彰碑があります。松右衛門が「帆布の父」と称されていたことから、この顕彰碑は帆布を両巻きにした形に成っています。平成30年に日本遺産の認定を受けました。



工楽松右衛門の顕彰碑 (八王寺)

兵庫津繁栄時に浜で働く船大工たちが作業の合間に歌っていた唄が、そのまま七宮神社の祭りで唄われ、「兵庫木遣音頭」のもととなり、保存会により現在に引き継がれています。

兵庫木遣保存会

開港コース

「大輪田泊」から「兵庫津」へ、そして「神戸港」開港。

当初、幕府が諸外国との間に調印した「修好通商条約」で決められた開港地は、「兵庫津」=「兵庫港」が対象でした。その後、地形等の理由から「神戸港」開港となりましたが、兵庫津やその周辺では近代産業を支える造船所が創業します。

さらに、明治期の神戸三大土木事業である烏原貯水池や湊川隧道の建設、兵庫運河の開削などが行われました。



開港コース



和田岬砲台
幕末期に外国船の襲来に備え、勝海舟の設計に基づき江戸幕府が建造しました。西宮など4ヶ所に同型の砲台が建設されましたが、内・外部ともに当時の面影を残しているのは和田岬砲台のみとなっています。大正10(1921)年に、兵庫県下における国指定史跡第1号に指定されました。

一般公開：毎月第2木曜日
三菱重工業(株)神戸造船所工場敷地内にあるため、徒歩では入れません。事前にお問合せください。

【問合せ先】
ダイヤモンドオフィスサービス(株) 神戸ビジネスセンター 業務グループ
TEL: 078-672-4820 (時間10:00~12:00、13:00~16:00 土日、祝祭日、弊社休業日は除きます。)



兵庫城から兵庫県庁への
うつりかわり

兵庫城は天正8(1580)年に池田恒興によって築造された城です。元和3(1617)年に兵庫が尼崎藩領となると、この地には同藩の陣屋がおかれましました。そして明和6(1769)年に幕府領となってからは勤番所が設けられ、大坂町奉行所から与力や同心が派遣されました。その後、慶応4(1868)年、初代内閣総理大臣となる伊藤博文が初代兵庫県知事に任命され、この地には兵庫県庁が設置されました。

兵庫城跡の石碑
(最初の兵庫県庁の地)



神戸開港50年記念碑
慶応3年12月7日(1868年1月1日)に開港した神戸港。平成29(2017)年には開港150年を迎えましたが、兵庫区には、大正7(1918)年に開港50年を記念して、大阪毎日新聞社から寄贈された石碑があります。御影石を組み立てたものに、ランタンやライオンを形どった蛇口がついており、堂々とした風格があります。

明治期の神戸三大土木事業

古くから氾濫を繰り返した旧湊川の付け替え工事により、明治34(1901)年に誕生しました。創設時は延長約680m、幅7.3m、高さ7.7mで、当時としては、世界最大級の断面規模でした。自動車も重機もない時代に、つるはしやシャベルで掘り進み、人の手で約450万個の煉瓦を積み上げる作業により完成しました。その後、平成12(2000)年に新湊川トンネルが完成したことにより、河川トンネルとしての役目を終えましたが、現在は、近代土木遺産として保存され、第2の人生が始まっています。平成31(2019)年に国登録有形文化財に登録されました。



【一般公開】
毎月第3土曜日
13:00~15:00
公開中にミニコンサート等が行われます。

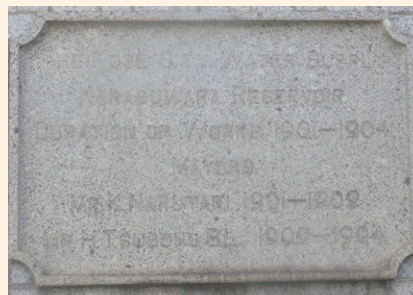
【通り抜け】
1年に1回(11月)土木の日にちなんで、普段公開していない隧道の奥まで歩いて通り抜けるイベントが開催されています。

【問合せ先】 湊川隧道保存友の会事務局 担当：市成(いちなり)さん
【問合せ先】 TEL: 090-5255-6288 mail: info@minatogawa-zuido.com



神戸市水道の創設工事の一環として奥平野浄水場や北野浄水場、布引貯水池などに続き建設されました。立ヶ畑堰堤の堤体は、平面半径181.81mのアーチ状をして優美な姿となっています。堤体の中心はすべて0.3m大の粗石及び栗石モルタル積みとなっており、平成10(1998)年に国の登録有形文化財に登録されています。

なお、「鳥原」の地名は、当時は「からすわら」と呼ばれていたようで、堰堤の碑文(英文表記)には「KARASUWARA RESERVOIR」と刻まれています。



湊川隧道(会下山トンネル)



鳥原貯水池

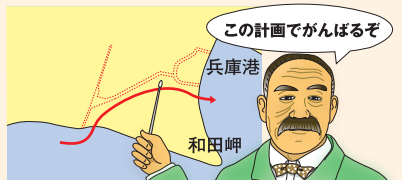


兵庫区南部には、国内最大級の運河があります。「新川運河」「兵庫運河(本線)」「兵庫運河支線」「苅藻島運河」(長田区)「新湊川運河」(長田区)の5つの運河の総称を「兵庫運河」と呼んでいます。

兵庫運河

新川運河

開港当時、和田岬は船の難所で海難事故が相次いだことから、「神田兵右衛門」によって、和田岬を迂回するバイパスとしての運河の開削が計画されました。ところが、この工事は予想外に費用がかかり、兵右衛門は私財を投げ打って明治9(1876)年に計画の一部である半円形の運河を完成させました。これが「新川運河」で、運河に取り囲まれている所は、「中之島」と呼ばれています。



明治7(1874)年「新川社」を設立 運河の工事を開始
こうだ ひょう えもん 神田 兵右衛門



一部分しかできなかった...

兵庫運河(本線)

運河の開削は「八尾善四郎」に引き継がれることになります。予想以上の労力と費用がかかったり、運河により不利益が起こるのではと誤解した地元の人たちの反対等、幾多の困難にあいながら、明治32(1899)年に我が国最大級の規模の運河を完成させました。



や お ぜん し ろ う 八尾 善四郎
運河反対!!
チクショー! あきらめるもんか...



明治32(1899)年東辰池の海岸と新川運河とを結ぶ 兵庫運河完成後、掘った土で海を埋め立てて、苅藻島が誕生



平成5(1993)年に、市民に親しまれる運河沿いの散策道として整備され、平成22(2010)年に改修されて現在の形になりました。静かな水面を見ながら散策していると、ポチャンという音と共に「ぼら」が飛び跳ねる姿も見られます。

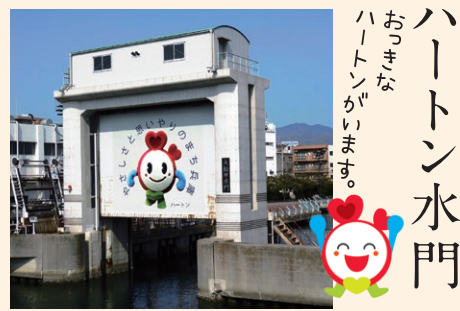
市民の憩いの空間としてイベントなどにも利用されています。平成29(2017)年からはライトアップも始まりました。色とりどりの光が運河の水面に反射し、素敵な雰囲気となっています。

新川運河キャナルプロムナード



ハートンからひとこと!

毎年秋には兵庫運河祭が開催されます。皆さん、是非来てくださいね。



ハートン水門
おっきなハートンがいます。

運河沿いに平成18(2006)年にオープンした「防潮堤水族園」。約300mにわたる防潮堤に「水族園」をテーマにした小中学生やイラストレーターの絵画パネルが飾ってあります。

防潮堤水族園



まちの魅力

神戸 新開地・ 喜楽館

7月11日に開館した上方落語の定席。昼は上方落語の定席、夜は貸館もっており、東西落語や講談、演芸やダンス等幅広く楽しむことのできる演芸場です。
※昼席:14:00~16:30(予定)、貸館:17:00~22:00

詳しくは⇒ <https://kobe-kirakukan.jp>



「神戸の台所」 神戸 新鮮市場

地下鉄湊川公園から地上に上がれば、そこが湊川一帯に広がる「神戸新鮮市場」の南口で、北へ伸びる約1kmの間に、約500の店舗がぎっしり並んでいます。「神戸の台所」といわれ、毎日、たくさんの買い物客でにぎわっています。

詳しくは⇒ <https://www.kobe-shinsenichiba.com>



東山商店街



マルシン



ハートフル
みなとがわ



パークタウン
湊川商店街

ノエビア スタジアム 神戸

(御崎公園球技場)

球技場としてスポーツをしたり、観たりはもちろん、レストランやスポーツジムの併設、なんと結婚式までできます。1年を通じてたくさんのイベントが行われており、いろいろな楽しみ方ができる注目の施設です。

詳しくは⇒ <http://www.noevir-stadium.jp>



神戸市 中央卸売市場 本場

本来は小売業者さんのための市場ですが、イベントを通じて、市場が扱う本物の食品を知ることができます。来て! 見て! 楽しんで! これであなかも食ツウになれる!?



詳しくは⇒ <http://www.shijou-kobe.jp/publics/index/63/>

